

フクビ樹脂製見切 クリアランス見切

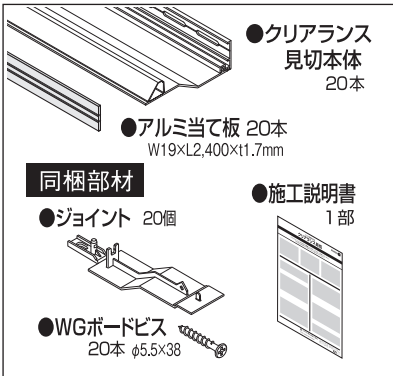
施工説明書

このたびは、フクビ「クリアランス見切」をご採用いただきまして有難うございました。
下記の施工説明書をよくご覧の上、正しく施工を行ってください。

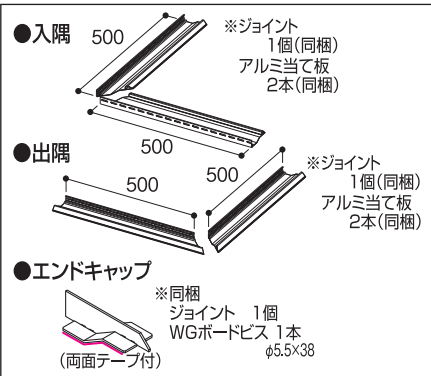
設計施工上の注意

クリアランス見切は水平天井用です。勾配天井には使用できません。

■同梱部材一覧



■別売部材

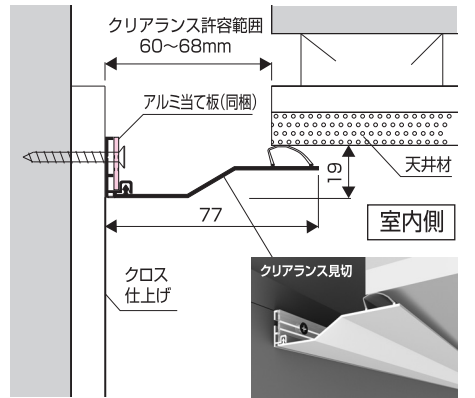


■施工全体の流れおよび厳守事項

施工手順ごとに以下の事項を守って、正しく施工してください。

▼ 施工手順	チェック欄	各施工過程での厳守事項
手順1: 取付け位置への墨出し	☐	墨出し位置が、天井レベルの3mm上
手順2: 取付け手順	☐	本体同士や出入隅とのジョイント隙間を20mm確保
手順3: 見切本体の取付け	☐	下地のある位置にビス留め
	☐	同梱のアルミ当て板を使って上溝部にビス留め
	☐	ビスピッチは455mm以下
	☐	製品の端部50mm以内にビス留め
手順4: 見切本体をはめる	☐	パチンと音がするまでしっかりはめる
	☐	天井との隙間はないか確認
手順5: ジョイント取付け	☐	本体同士や本体と出入隅の隙間20mmの中央に取付ける
手順6: エンドキャップ取付け	☐	本体端部から10mm離れた位置に取付ける
手順7: 仕上げ	☐	コークボンドを使って出入隅部の隙間を仕上げる

■納まり図



■施工手順

手順1: 取付け位置への墨出し

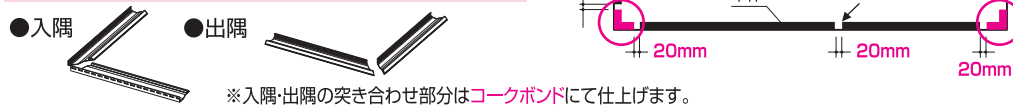
天井仕上り面より3mm上の位置に墨出ししてください。

- ⚠ 注意
- 本体仕上り面から3mmを超える位置に取付けますと、手順4で見切本体がはまりにくくなる、嵌合が外れやすくなるなどの原因となります。
 - 天井仕上り面より下に取付けますと天井材と見切本体の間に隙間が生じる原因となります。

手順2: 取付け手順

入隅・出隅を先に取付けてください。（下図の○赤丸印の箇所）

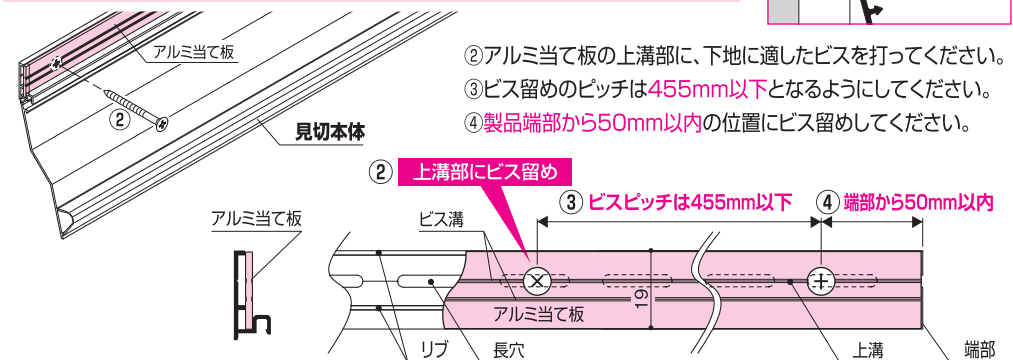
- ⚠ 注意
- 本体を取付ける際は、ジョイント部に20mmの隙間をあけてください。
 - 後付けで、この隙間にジョイントカバー（巾30mm）を取付けます。



手順3: 見切本体の取付け

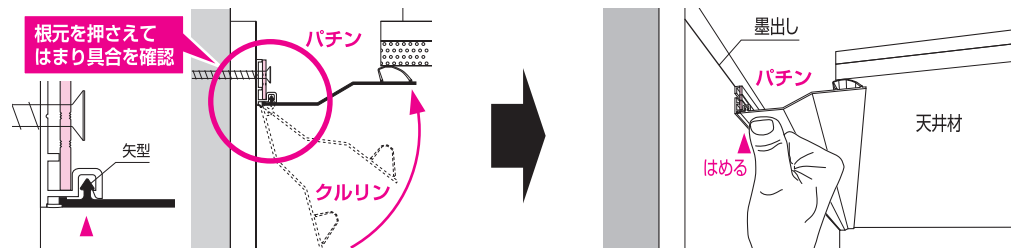
①同梱のアルミ当て板を見切本体の溝部（右下図参照）に差し込み、左右位置を整えてください。

- ⚠ 注意
- 必ず、同梱のアルミ当て板を使用してください。
 - 見切本体を加工切断する場合、アルミ当て板も同サイズに切断してください。
 - 本体に長穴が空いてありますが、ビスは下地のある位置に打ってください。
 - コンクリート下地の場合はアルミ当て板から下地にかけて下穴を空けてアンカープラグビスまたは、アンカープラグビスで留め付けてください。



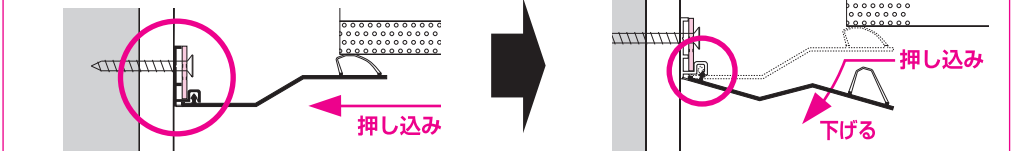
手順4: 見切本体をはめる

上方向にクルリンと回転させて、根元の矢型をパチンと音がするまでしっかりとめ込んでください。
※しっかりとめ込んでいないか、根元を押し上げるように押さえつけて確認してください。



※本体を外したい場合

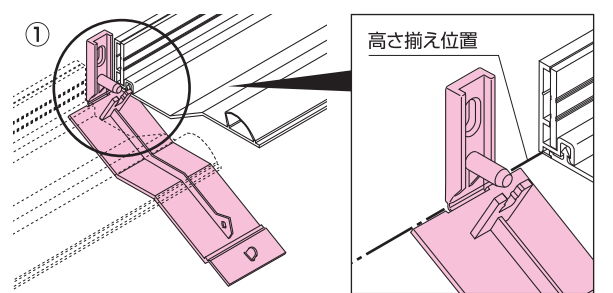
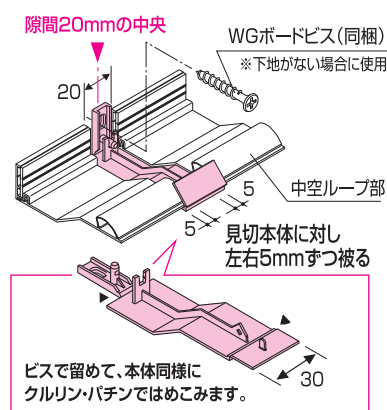
本品は外れにくい設計になっていますが、調整のためにどうしても外したい場合には見切を壁側に押し込みながら下げることで外す事が可能です。



- ⚠ 注意
- 見切をはめた時点で、天井材との間に隙間がある場合は見切本体を取付けているビスが緩みすぎているか、取付け位置が天井仕上り面より下になっています。
 - いったん外して、ビスが緩んでいないか、取付け位置が天井仕上り面より下になっていないか点検してください。

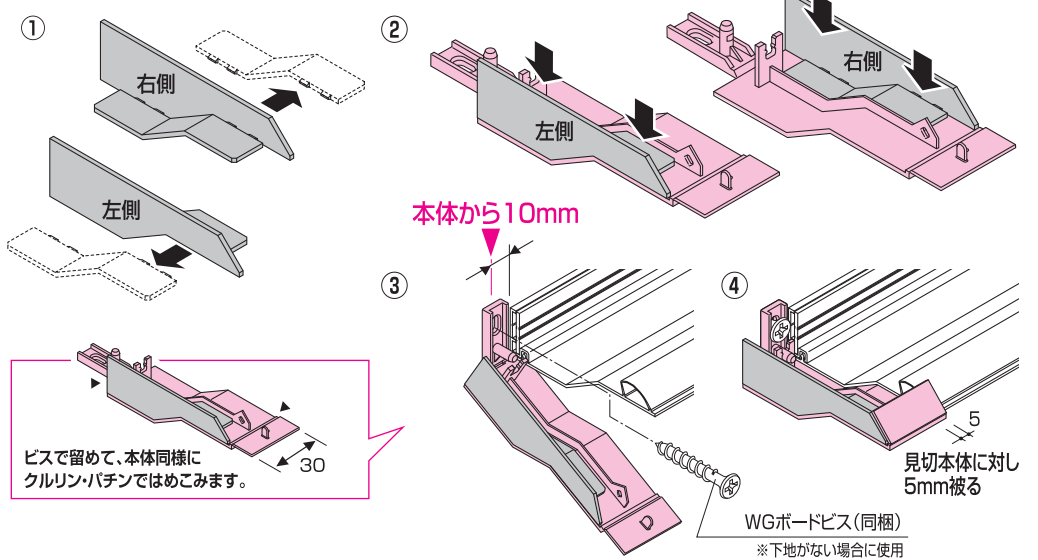
手順5: ジョイント取付け

- ①ジョイントは、取付け高さを本体と合わせて、隙間20mmの中央にくる位置に下地に適したビスで留め付けます。
- ②根元を折るように回転してはめ込みます。
- ③次に、先端を回転してはめ込みます。



手順6: エンドキャップ取付け

- ①使用する向きに合わせてエンドキャップの左右にある羽根の片方をカッターで切り取ります。
- ②両面テープの離型紙をはがし、同梱のジョイントにしっかりと貼り付けます。
- ③本体端部から10mmの位置に②のエンド部材を下地に適したビスで留め付けます。
- ④根元を折るように回転してはめ込み、次に先端を回転してはめ込みます。



手順7: 仕上げ

仕上げるに、入隅・出隅部の隙間にコークボンドを充填して完了です。

